

別紙2

事務事業評価(事後評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	教育総務課(学校教育担当)		
事務事業名	通級指導教室開設事業	事業番号	12811
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-4 特別支援教育の充実
	施策目標	子どもたち一人ひとりの教育ニーズに応じた特別支援教育が受けられるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	個別の指導を必要とする児童
	対象者の今後の予想	増加傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	近年、特別支援学級や通級指導教室で支援を受ける子どもや、普通学級に在籍し、何らかの支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、花咲小学校、成央小学校の2校に加え、新たに北斗小学校に通級指導教室を開設するための整備工事や、必要な教材を整備する。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	新たに教室を開設することにより、保護者の通級等の負担の軽減が図られるとともに、インクルーシブ教育が推進されることにより、児童生徒の「共生社会」に関する理解が醸成される。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (R1)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 通級指導教室を開設する学校数	1校	-	-	-	2校	3校	2校	3校
2 通級指導による改善に伴い、通級指導を終了した児童数	2人	-	-	-	0人	3人	4人	8人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)					R3予算		R4予算	
					850		842	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他				850	842		
	一般財源							
人員(人工)					0.08	0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)					616	616		
総事業費(=事業費+職員人件費)					1,466	1,458		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					489	486		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					489	486		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	市街地の小学校3校(花咲小学校、成央小学校、北斗小学校)に通級指導教室が開設されたことから、当面はこの体制を維持する。
今後の動向・市民ニーズなど	近年、特別支援学級や通級指導教室で支援を受ける子どもや、普通学級に在籍しながら何らかの支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあり、それぞれの特性に応じたきめ細やかな支援が求められている。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 新たに通級指導教室が開設されることにより、子どもたちひとり一人が個に応じた教育を受けられる環境が整備されるとともに、自校通級による指導の充実が図られた。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 学校教育法に基づき学校設置者が実施すべきものであるため。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 各学校と連携し、継続して必要な環境整備に努める。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 児童1人ひとりの特性に応じて、必要な支援内容が異なることから、一律のコスト削減は困難。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 統合により、事務の軽減やコスト削減に繋がる事業がない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 義務教育における特別の支援課程の実施であり、保護者に負担を求めることはできない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和4年6月